

# 第3次光市総合計画

(2022年度 — 2026年度)

## ゆたかな社会

人が輝き  
やさしさつながる  
幸せ創造都市  
ひかり



令和4年3月

光市

# 第3次光市総合計画のまちづくり

## まちづくりの基本

市民生活の規範である**光市民憲章**の精神や普遍・不朽の**3つの都市宣言**の理念をまちづくりの基本とします。

光市民憲章



3つの都市宣言

- おっぱい都市宣言
- 自然敬愛都市宣言
- 安全・安心都市宣言

都市宣言とは?

地方自治体などが重要な政策課題などについて、自らの意思や主張、方針を明らかにするものです。光市には3つの都市宣言があります。

## ゆたかな社会とは

「ゆたかな社会」とは、市民一人ひとりが自らの創造性を発揮しながら、生き生きとした生活を享受している社会です。時代が移りゆくとも変わることのない理想の社会である「ゆたかな社会」。それは、混迷する時代において、幾多の試練が待ち受けようとも、市民一人ひとりが生きる喜びや幸福感に満たされながら、このまちで、笑顔で心豊かに暮らし続けることができる社会です。

人口減少社会の中で想定される多くの課題や、私たちの日常の生活と安心を脅かす様々な危機を乗り越え、目指すまちの姿である「**ゆたかな社会～人が輝き やさしさつながる 幸せ創造都市 ひかり～**」の実現を目指します。

## 第3次光市総合計画の目標

第3次光市総合計画では**6つの「ゆたかな社会」のビジョンを基本目標**として、令和8年度(2026年度)までの5年間のまちづくりの方向性を決めました。

- ① 限りない市民力・地域力がゆたかに花開くまち
- ② ゆたかな人間性と可能性を大切にし心温かい人が育つまち
- ③ 安全・安心に包まれて人が心ゆたかに暮らすまち
- ④ 自然と都市が潤いゆたかに調和したまち
- ⑤ 産業の活力とにぎわいがゆたかに行き渡るまち
- ⑥ 市民参画と健全な行財政でゆたかさを創出するまち

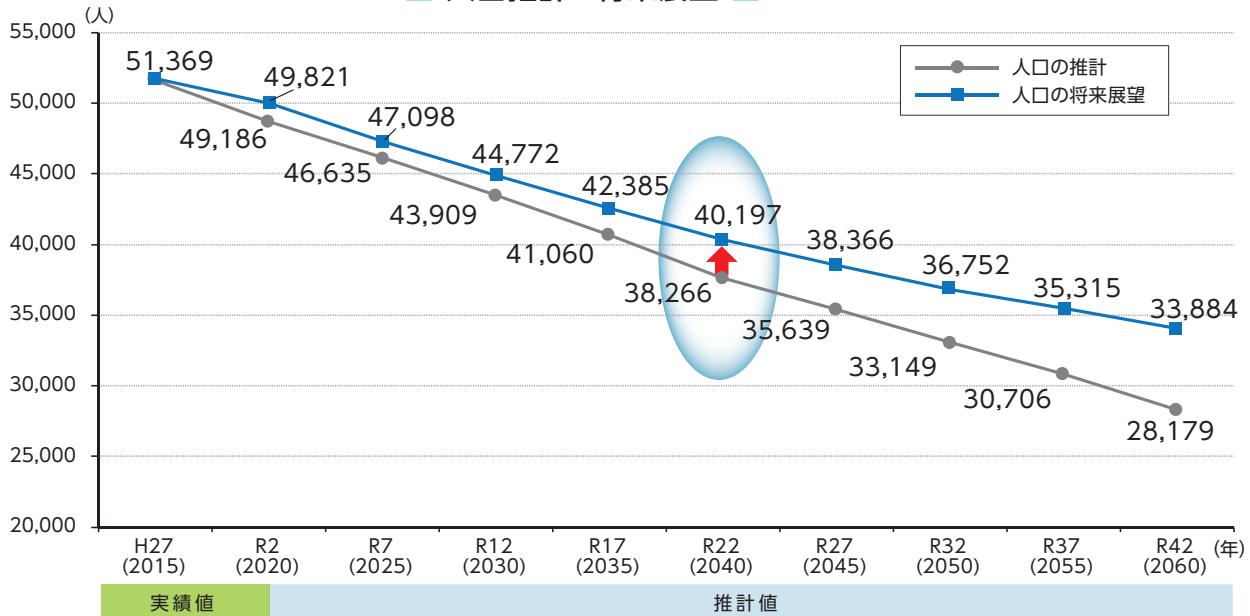


## ■ 人口の将来展望

我が国は、現在、人口減少と少子高齢化の進展に直面しています。これは、本市においても例外ではなく、想定される様々な課題を克服するため、長期的な視点に立った政策を実施していきます。

国立社会保障・人口問題研究所（以下、「社人研」）によると、本市の総人口は、2040年（令和22年）には40,000人台を割り込み、38,266人になると推計されています。そこで、総合計画に掲げる様々な政策により生み出される効果によって、推計が示す人口減少の速度を緩やかに転換していくことを展望しています。

■ 人口推計と将来展望 ■



【資料 光市人口ビジョン】

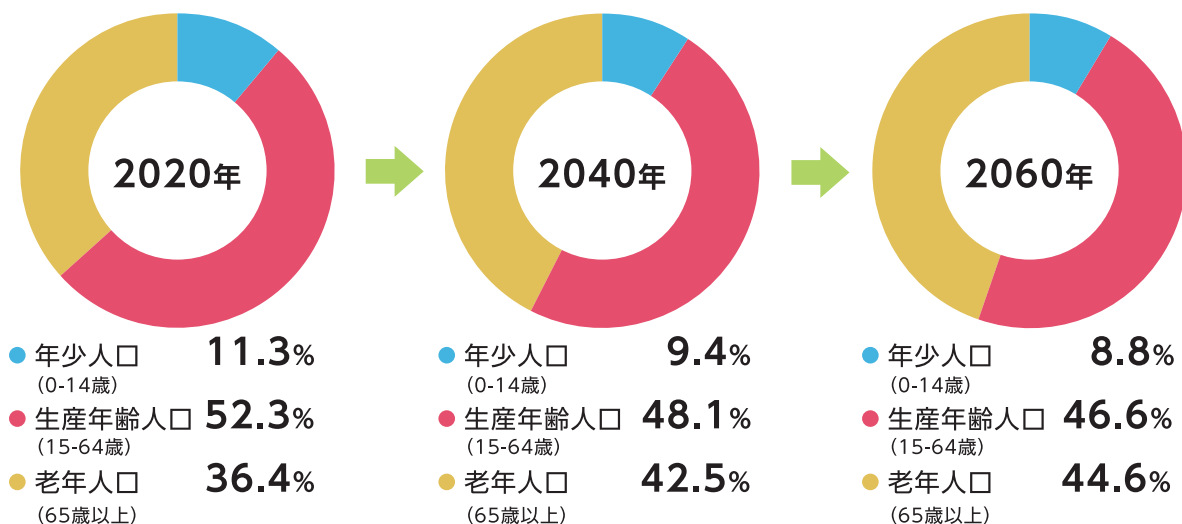
### 人口の将来展望の前提 (おおむね20年後の展望)

- 2040年（令和22年）の人口が4万人台を維持する
- 転出者と転入者の社会移動が均衡する
- 合計特殊出生率が人口置換水準\*である2.07となる

\*人口が増加も減少もしない均衡した状態となる合計特殊出生率の水準のこと。

## ■ 年齢区分別人口の推移

社人研の推計によると、本市は今からおおむね20年後となる2040年（令和22年）頃から、年少人口、生産年齢人口、老年人口の全ての区分で人口減少が進み、特に、若年層の比率の低下が予測されています。



# つながる光・未来戦略プロジェクト

## 1 安全がつながる

### 防災指令拠点施設整備と災害に強いまち構築プロジェクト

自然災害が多発・激甚化する傾向にある中、これまでの常識にとらわれることなく、より強い危機感をもって災害に備えるため、災害に強いまちの構築を進めます。

#### 防災指令拠点施設を中心とした防災体制の整備・強化

- 防災指令拠点施設の整備と風水害等あらゆる自然災害への的確な対応
- 災害対応を支援する総合防災情報システムの構築 など

#### 地域防災力の強化

- 三島コミュニティセンターの整備
- 避難所環境の整備
- 自主防災組織への支援と地域防災を担う人材の育成 など

#### 災害に強いまちの構築

- 河川浚渫工事の促進
- 道路の適切な維持管理
- 橋梁の耐震補強対策 など



防災パトロール



地域住民や関係機関を交えた総合防災訓練

## 2 笑顔がつながる

### 協働による地域の絆再生プロジェクト

地域のつながりを創出するために、人と人、人と地域がつながり合うことのできる場を設け、様々な活動を育むため、「オールひかり」で知恵を出し合い、多様なつながりを再生します。

#### まちや地域を結ぶ絆の再生

- コミュニティプランの実現に向けた支援
- 協働事業提案制度の推進
- 対話事業の推進 など

#### 地域活動の活性化と地域自治の推進

- 三島コミュニティセンターの整備(再掲)
- 地域コミュニティとコミュニティ・スクールとの連携促進
- 市民活動等に関する相談・支援体制の充実 など

#### 地域と行政の協働による課題解決

- 地域おこし協力隊の新規隊員の確保と活用
- 地域と連携した移住・定住対策の推進
- 地域と連携した空家等への対策の推進 など



虹ヶ浜海岸でのイベント(サンドアートin光)



市長と地域住民との市民対話集会

今後5年間のまちづくりにおいて、特に重点的に取り組むべき政策を「つながる光・未来戦略プロジェクト」の人や地域、世代を結ぶ「つながり」を再構築し、「オールひかり」の力を結集して、「ゆたかな社会

## 3 安心がつながる

### 健康と長寿を支える医療環境充実プロジェクト

健康長寿に向けて、市民や地域の主体的な健康づくりや地域で支え合う仕組みづくりを進めます。また、医師会等との強固な連携を維持しながら、新型コロナウイルス感染症等に対応できる感染拡大防止対策を強化します。

#### 2つの市立病院を中心とした地域医療の充実・強化

- 市立病院を中心とした地域医療体制の充実・強化
- 市立病院の医療機能の拡充と医師確保対策の推進
- 救急医療体制の確保 など

#### 新型コロナウイルス感染症等への対応

- 県や地元医師会等との連携による感染症への機動的対応
- 感染症に関する的確な情報の発信と正確な知識の普及 など

#### 人生 100 年時代を支える健康づくりの推進

- ウォーキングの推奨
- いきいき百歳体操の推進
- がんや糖尿病等の生活習慣病等の早期発見と重症化予防対策の推進 など



新型コロナウイルス感染症への対応



梅まつりコバルト・ウォーク

## 4 地域がつながる

### 光駅のバリアフリー化と公共交通ネットワーク構築プロジェクト

地域の実情に応じた地域住民の支え合いによる移動の仕組みづくりを支援するとともに、持続可能で利便性の高い公共交通ネットワークの構築や、まちの玄関口にふさわしい光駅の機能充実を図ります。

#### 光駅拠点整備の推進

- JR光駅のバリアフリー化と南北自由通路の更新
- 駅前広場の機能充実・再配置
- 民間活力によるにぎわいの創出 など

#### 持続可能な公共交通ネットワークの構築

- JR光駅の交通結節機能の充実
- 地域の特性に応じた生活交通の確保支援
- 公共交通ネットワークの構築 など

#### 幹線道路の整備促進

- 主要地方道(光日積線)の整備促進
- 都市計画道路(瀬戸風線、川園線等)の整備促進
- (仮称)光・下松間道路の整備促進 など



まちの玄関口であるJR光駅



生活の移動手段の一翼を担う公共交通



## 5 元気がつながる

### にぎわいを生み出す地域産業活性化プロジェクト

にぎわいのあふれるまちづくりに向けて、安心して働くことができる雇用の場の確保と地域経済の活性化、第一次産業における従事者の高齢化と担い手不足を克服する取組を進めます。

#### 地域経済の活性化と創業・雇用支援

- 創業と新しいチャレンジへの支援
- 企業誘致環境の整備と企業進出の促進
- 商工業等に関する後継者の育成と人材確保の支援
- 時代の変化に応じた事業再構築等への支援 など

#### 地産地消と農林水商工連携の推進

- 農業振興拠点施設「里の厨」を中心とした地域農業の振興
- 有害鳥獣による被害防止の充実・強化
- 森林資源の利活用の推進
- 水産業振興施設への支援
- 農業・林業・水産業・商工業の連携促進
- 新規就業者（農業・漁業）の育成・定住支援 など



光セレクトの認定



新規就業者の育成・定住支援

## 6 世代がつながる

### 誰一人取り残さない「光っ子」を育む教育と子育て応援プロジェクト

地域ぐるみの教育をはじめ、質の高い教育や教育環境の充実を通して、自ら未来を切り拓くことができる子どもを育みます。また、結婚・妊娠・出産・育児の切れ目のない支援を展開し、「おっぴ都市」にふさわしいまちづくりを進めます。

#### 子どもたちの可能性を引き出す質の高い教育の推進

- 施設一体型による小中一貫教育の具現化
- ふるさを愛し豊かな心を育む「光市民学」の展開 など

#### ライフステージに応じた切れ目のない支援

- 県等と連携した出会いの場への参加促進や結婚支援
- 不妊・不育症治療支援や産後ケアの展開
- 子ども・子育て相談体制の充実 など

#### 誰一人取り残さない環境整備

- 特別支援教育の推進
- いじめ等への総合的な対応
- 不登校児童生徒の自立支援と居場所づくり など



コミュニティ・スクール（潮音寺山まつり）



未来のパパママ応援事業



## 7 技術がつながる

### デジタル化で進める快適な暮らし実現プロジェクト

デジタル技術を活用した業務の効率化や市民の利便性の向上に向けた取組として、市民の快適さにつながる行政サービスの提供や、デジタル技術を活かした市民と行政の双方向のやり取りを活発化させます。

#### デジタルによる市民サービス向上

- 高齢者等のICT(情報通信技術)の利活用支援
- 行政手続のオンライン化の推進
- ICTを活用した学習活動の充実
- スマートフォン決済アプリを利用した市税等の納付の推進
- 市民と行政がデジタルを介して双方向に情報を共有する仕組みの構築
- マイナンバーカードの普及と利活用促進 など



タブレット端末を活用した学習活動

#### AI(人工知能)など先端技術の導入

- 未来に向けた先端技術等の調査・研究
- AIやRPA(作業の自動化)等の活用検討
- ドローン技術の活用検討 など



電子図書館

## 8 人がつながる

### 豊かな自然と人で魅せるシティプロモーション活動実践プロジェクト

まちの魅力や地域の人大切に思う価値観等の積極的な発信を通じて、本市での活動や暮らしに共感できる人の輪を広げます。

#### 効果的なシティプロモーション活動の展開

- まちへの誇りと愛着を育むプロモーション活動の展開
- 3つの都市宣言の理念を踏まえたプロモーション活動の展開
- プロモーション活動への市民の参加促進
- 市外で暮らす本市の特性や生活スタイルに共感する人々をターゲットにした定住促進事業の展開
- ふるさとを愛し、豊かな心を育む「光市民学」の展開(再掲) など



まちぐるみWedding

#### 豊かな自然を活かした観光や交流、定住促進活動の展開

- 住みよい住環境の基盤となる自然環境の保全と脱炭素に向けたライフスタイルの転換
- 自然や歴史・文化を融合した観光ルートの整備
- 地域や団体と連携した体験型コンテンツの創出・展開
- 豊かな自然を活用したアクティビティの充実 など



伊藤公資料館

## SDGsとまちづくり

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## ゆたかな地球を未来につなぐ17の目標 (SDGs)

世界的な気候変動や海洋汚染、貧困や男女格差など、数多くの社会的課題を国際社会で協力しながら、2030年(令和12年)までに解決を目指す「17の目標」です。「誰一人取り残さない」という理念のもと、社会・経済・環境の3つの側面から、持続可能なより良い未来を築くことを目指しています。

SDGsの理念や考え方は「ゆたかな社会」の実現を目指す本市のまちづくりと重なるため、第3次光市総合計画は、SDGsをグローバルな視点から「ゆたかな地球を未来につなぐ17の目標」と捉え、計画の分野別計画(政策)にSDGsの考え方を関連付けています。

## 光市が取り組むSDGs

### 取組の一例



3 すべての人に健康と福祉を  
市立病院を中心に、質の高い地域医療サービスの提供や子育て支援の充実、疾病の予防・改善など、生涯現役で過ごせる健康づくりを推進します。



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに  
再生可能エネルギーの導入や省エネルギー化を推進し、地球環境に負荷の少ないライフスタイルの普及・啓発を促進します。



14 海の豊かさを守ろう  
室積・虹ヶ浜海岸をはじめ公共水域の持続的な水質保全を図るため、下水道の計画的な整備と適切な維持管理に取り組みます。



5 ジェンダー平等を実現しよう  
ジェンダー不平等の解消をはじめ、女性活躍の推進や全ての人が働きやすい職場環境の整備・支援等に努めます。



11 住み続けられるまちづくりを  
将来を見据えた長期的な視点に立ち、持続可能な都市経営に向けて、「公共施設マネジメント」に基づく施設の適正規模・適正配置に取り組みます。



16 平和と公正をすべての人に  
市民との対話によるまちづくりを進め、若者から高齢者まで、誰もが市政に参画しやすい環境づくりに取り組みます。

### 第3次光市総合計画 概要版

発行／光市

編集／政策企画部 企画調整課 〒743-8501 山口県光市中央六丁目1番1号 電話／0833-72-1407